

BNCT関連講演会・見学会を開催

2013.2.19



於 いばらき量子ビーム研究センター



茨城県商工労働部
清宮参事
兼産業政策課長



茨城県企画部
科学技術振興課
森田主査



高エネルギー
加速器研究機構
吉岡名誉教授

90余名の参加者の熱気と期待に包まれて

第二部の見学会では、4班に分れて、建設が進む研究センター内部を見学しました。KEKの吉岡名誉教授に加えて小林仁名誉教授他数名の研究者から施設ごとに懇切なご説明を戴き、その先進性と期待される治療効果に見学者がそれぞれに感嘆の声をあげていました。

事後のアンケートでは講演と見学を通して「やや難しい内容ではあったが、平易な解説でよく理解することができた。同時に一層の関心呼び覚まされた。本格運用に入ったら是非とも自分自身の目で再確認したい。」旨の感想が散見されました。

本センターは急ピッチで最後の整備作業が進められています。J-PARCに次ぐ中性子研究の拠点として、今後とも関係者は勿論のこと、多くの県民の期待を担って行くことになると思われます。

尚、当日は、企業の経営者や技術者など93名という多くの方のご参加をいただき、盛会のうちに閉会しました。

「患者と医療従事者にやさしい施設」をめざして

本協議会では、いばらき成長産業振興協議会健康・医療機器研究会と共催にて2月19日(火)13時30分からホウ素中性子捕捉療法(BNCT)講演会と、4月に開設予定の「いばらき中性子医療研究センター(IQBRC敷地内)」の見学会を開催しました。

冒頭、茨城県商工労働部清宮正人参事兼産業政策課長の挨拶の後、第一部の講演会では、茨城県企画部科学技術振興課森田俊二主査から「いばらきBNCTプロジェクトについて」と題して、中性子医療研究センター開設に至る経過や、本センターにかかる期待と県の施策計画を説明戴きました。引き続き、高エネルギー加速器研究機構(KEK)吉岡正和名誉教授から「中性子の医学利用・いばらき加速器BNCT開発に即して」をテーマに、更に詳しく設備機能のハード面と癌などへの効果的な放射線治療のソフト両面から解説を戴き、参加者の強い関心が喚起されました。両氏に共通する理念は、技術至上ではなく「患者と医療従事者にやさしい」施設を目指す点にあり確か暖かな目線が心に残りました。



調整中の加速器
(加速器室にて)



クライストロン室で説明を聞く見学者



加速器前室では
パネル解説を受けました



建設工事が進む照射室と中性子遮蔽体

iMATERIA 随時課題公募のお知らせ

平成25年度上期(2013A)茨城県材料構造解析装置(iMATERIA)随時課題の公募が開始されました。本年7月迄の実験につき4回に分けて募集中です。詳細のHP：http://www.sf21-ibaraki.jp/kantan/newinfo_doc/doc146_1.pdf

***** J-PARC NEWS 発行 *****
J-PARC NEWS 第95号が発行されました。
<http://j-parc.jp/ja/news/news-j.html>